

議決権行使レポート

証券コード 8769

会社名 アドバンテッジリスクマネジメント

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金の処分の件	○		
第2号議案 取締役5名選任の件			
鳥越 慎二 氏	○		
住田 健介 氏	○		
江原 徹 氏	○		
天田 貴之 氏	○		
岩佐 朱美 氏	○		

第1号議案 剰余金処分の件

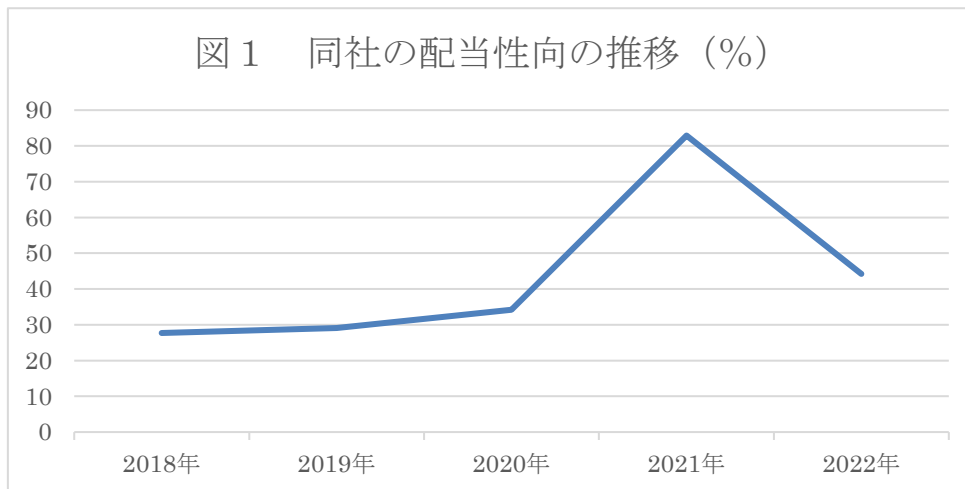
ISSの基準によると、

- ・十分な説明がなく、配当性向が継続的に低い場合
- ・配当性向があまりに高く、財務の健全性に悪影響を与えうる場合

を除き、原則として賛成を推奨するほか、配当性向が15～100%の場合通常は賛成を推奨するとある。

また、GLASS LEWISの基準も、配当金の判断は原則として株主の代表である取締役会に一任することが適切であるとしている。

同社の配当性向の近年の推移は以下の図1のとおりである。ISS、GLASS LEWIS双方の基準と照合するといずれにおいても賛成が推奨される状況であるため、賛成する。



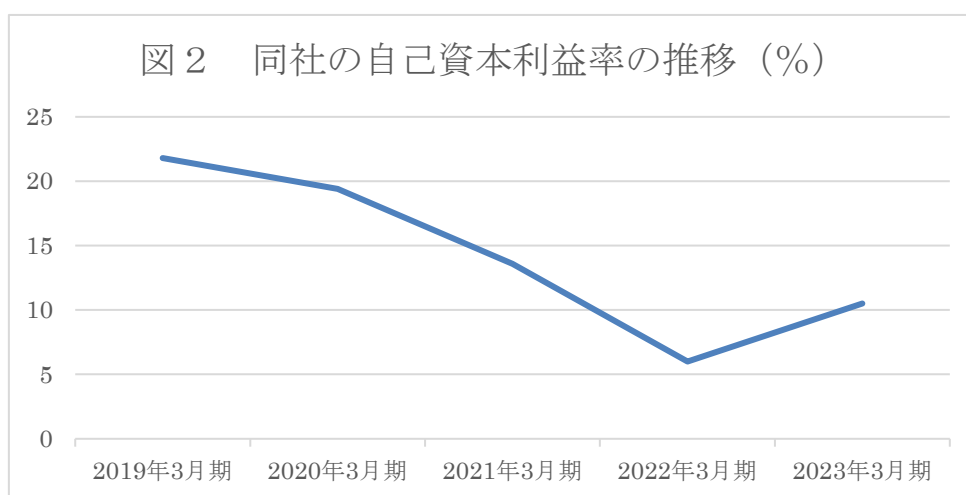
参考資料：<https://www.armg.jp/ir/return/>（最終閲覧日：2023年6月26日）

第2号議案 取締役5名選任の件

ISSは監査役設置会社において、同社や同社の取締役候補が以下の6点のいずれかに該当する場合は、原則として反対を推奨するとしている。同社や同社の取締役候補がこの6点に該当するか1点ずつ確認する。

・資本生産性が低く（過去5期平均の自己資本利益率[ROE]が5%を下回り）かつ改善傾向にない場合、経営トップである取締役

同社のROEの近年の推移は以下の図2の通りである。5%を常に上回っていることからこの条項には該当しない。



参考資料：<https://www.buffett-code.com/company/8769/>（最終閲覧日：2023年6月26日）

・いわゆる政策保有株式の過度な保有が認められる場合（政策保有株式の保有額が純資産の20%以上の場合）、経営トップである取締役

同社は現在上場株式を保有していないので、この条項には該当しない。

参考資料：<https://www.armg.jp/ir/governance/>（最終閲覧日：2023年6月26日）

・株主総会後の取締役会に占める社外取締役の割合が3分の1未満の場合、または社外取締役が2名未満の場合、経営トップである取締役

監査等委員である取締役を含めると、取締役8人中4人が社外取締役となるので、この条項には該当しない。

・株主総会後の取締役会に女性取締役が一人もない場合、経営トップである取締役
取締役候補の岩佐氏は女性であるため、この条項には該当しない。

・親会社や支配株主を持つ会社において、株主総会後の取締役会に占める ISS の独立性基準を満たす社外取締役の割合 3 分の未満の場合、または ISS の独立性基準を満たす社外取締役が 2 名未満の場合、経営トップである取締役

同社は ISS 等が定義する親会社や支配株主を有さないため、この条項には該当しない。

参考資料：<https://www.buffett-code.com/company/8769/mainshareholder>

(最終閲覧日：2023 年 6 月 26 日)

・前会計年度における取締役会の出席率が 75%未満の社外取締役

新任となる岩佐氏を除き、すべての取締役候補が全会計年度のすべての取締役会に出席していることから、この条項には該当しない。

以上より ISS が定める 6 点のいずれにも該当せず、反対が推奨される状況ではないことからすべての取締役候補の選任に賛成する。